

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定		
		・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める		
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		・天竜川で大水害(天竜川最古の水害記録)
	702(大宝2年)			
	704(慶雲元年)		・国印がはじめて鑄造され、信濃の表記が定まる	
709(和銅2年)		・信濃・甲斐など7カ国の民、陸奥・越後の蝦夷鎮定のため徴発される		
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	714(和銅7年)		・信濃・越後・尾張・上野4カ国の民200戸を出羽の柵戸に配置	
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	784(延暦3年)	・長岡京に遷都		
	794(延暦13年)	・平安京に遷都		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
平安時代	802(延暦21年)		・信濃など東国の浪人4000人を陸奥胆沢城に配置	
	821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る		
	823(弘仁14年)		・貢馬素進の初見	
	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927(延長5年)	・『延喜式』完成	・『延喜式』では信濃に山鹿・塩原・岡屋・平井手・笠原・高位・宮処・埴原・大野・猪鹿・萩倉・新治・長倉・塩野・望月の16の御牧を記す	
	1000(11世紀初頭)			・立田堰、温堰、鳥羽堰、飯田堰、田多井堰を築く(平安時代～鎌倉時代)
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・信濃国:耕地30,908町
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1055(天喜3年)			
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)		
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定		
	1108(天仁元年)		・信濃浅間山に未曾有の噴火	
1156(保元元年)	・保元の乱			
1159(平治元年)	・平治の乱			
1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
鎌倉時代	1183(寿永2年)		・倶利伽羅峠の戦い、木曾義仲、平氏の都落ちのあと京都に入る	
	1184(元暦元年)		・木曾義仲、近江粟津に戦死	
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置		
	1186(文治2年)			・屋代堰(埴科郡、600町)*5
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1221(承久3年)	・承久の乱		
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1237(嘉禎3年)		・善光寺五重塔が浄定の勧進により完成する	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1246(寛元4年)		・名越朝時、信濃善光寺金堂を建立	
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]		
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]		
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
室町時代	1334(建武元年)	・建武の中興		
	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大將軍となる		
	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大將軍となる		
	1392(明德3年)	・南北朝の合一		
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		
	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・信濃国:耕地1,306町
	1501(文亀元年)			
	1506(永正3年)			
	1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来		
	1548(天文17年)		・村上・小笠原長時・仁科盛直・藤沢頼親連合軍が武田軍と塩尻峠で激戦	
1553(天文22年)		・村上義清は長尾景虎をたより景虎軍が出陣する(第1回川中島合戦)		
1564(永禄7年)		・長尾景虎、川中島に着陣、武田信玄塩崎に対陣(第5回川中島合戦)		
1573(天正元年)	・室町幕府滅びる	・武田信玄、西上作戦の途中、伊那駒場で死去する		
安土・徳川	1581(天正9年)			
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(～'98)	・織田信忠軍が河尻秀隆らが伊那・上諏訪から甲府へ進撃、武田氏滅亡	
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		
	1590(天正18年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
桃山時代	1596(慶長元年)			・慶長年間:川中島用水堰(更級郡)*5
	1597(慶長2年)			
	1598(慶長3年)			
	1599(慶長4年)			
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い	・西征の徳川秀忠軍、上田城を総攻撃して大敗する	
	1601(慶長6年)			
	1602(慶長7年)			
	1603(慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く		
	1604(慶長9年)			
	1605(慶長10年)			
	1606(慶長11年)			
	1607(慶長12年)			
	1608(慶長13年)			
	1609(慶長14年)			
	1610(慶長15年)		・諏訪頼水、原山新田開発を免許、これ以降八ヶ岳山麓の新田開発が進む	・木島新田(下高井郡、100町、~'15)*5
	1611(慶長16年)			
	1612(慶長17年)			
	1613(慶長18年)			
	1614(慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615(元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		・元和年間:中之條用水(小県郡、40町)*5
	1616(元和2年)			・沓野新田(下高井郡)*5
	1617(元和3年)			
	1618(元和4年)			
	1619(元和5年)			
	1620(元和6年)			・西條新田(下高井郡、50町)*5
	1621(元和7年)			
	1622(元和8年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1623 (元和9年)			
	1624 (寛永元年)			<ul style="list-style-type: none"> ・杉尾新田(南佐久郡、96町、元和～) ・寛永年間:五郎兵衛新田(北佐久郡、28町)*5
	1625 (寛永2年)			<ul style="list-style-type: none"> ・寛永年間:平塚新田(北佐久郡、28町)*5
	1626 (寛永3年)			
	1627 (寛永4年)			
	1628 (寛永5年)			
	1629 (寛永6年)			
	1630 (寛永7年)		<ul style="list-style-type: none"> ・市川五郎兵衛、佐久郡矢島原への用水開削を竣工、五郎兵衛新田開発はじまる(佐久4新田の最初) 	
	1631 (寛永8年)			
	1632 (寛永9年)			<ul style="list-style-type: none"> ・沓沢新田(北佐久郡)*5
	1633 (寛永10年)			<ul style="list-style-type: none"> ・市郎右衛門新田(北佐久郡)*5
	1634 (寛永11年)			
	1635 (寛永12年)			
	1636 (寛永13年)			
	1637 (寛永14年)			
	1638 (寛永15年)			
	1639 (寛永16年)	<ul style="list-style-type: none"> ・鎖国令 		
	1640 (寛永17年)			
	1641 (寛永18年)			<ul style="list-style-type: none"> ・北原開墾(下高井郡、20町)*5
	1642 (寛永19年)			
	1643 (寛永20年)	<ul style="list-style-type: none"> ・田畑永代売買禁止令 		
	1644 (正保元年)			
	1645 (正保2年)			
	1646 (正保3年)			<ul style="list-style-type: none"> ・塩沢堰長三郎新田(北佐久郡)*5
	1647 (正保4年)			
	1648 (慶安元年)			
	1649 (慶安2年)	<ul style="list-style-type: none"> ・地方五役5人組制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・松本藩、領内総検地をはじめる 	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1650(慶安3年)			・御影新田(北佐久郡)*5
	江戸時代前期			・松代藩10万石、松本藩7万石、上田藩6万石、飯田藩5万石、高島藩3万石、小諸藩3万石、高遠藩3万石
	1651(慶安4年)			
	1652(承応元年)			
	1653(承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える		・矢原堰築造 ・八重原堰(北佐久郡、240町、~'62)*5 ・宇山堰(北佐久郡、323石)*5 ・児玉新田(北佐久郡)*5
	1654(承応3年)			
	1655(明暦元年)			
	1656(明暦2年)			
	1657(明暦3年)			・塩沢池*2
	1658(万治元年)			
	1659(万治2年)			
	1660(万治3年)			
	1661(寛文元年)			・寛文年間:大久保赤渋開墾地(上水内郡、30町)*5
	1662(寛文2年)			
	1663(寛文3年)			
	1664(寛文4年)			
	1665(寛文5年)		・幕府領総検地がはじまる(~延宝年間)	
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令		
	1667(寛文7年)			
	1668(寛文8年)			・観音寺新田(北佐久郡)*5
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)			
	1671(寛文11年)			
	1672(寛文12年)			
	1673(延宝元年)			
	1674(延宝2年)	・分地制限法	・長雨低温から大凶作、延宝飢饉がはじまる	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1675 (延宝3年)			
	1676 (延宝4年)			
	1677 (延宝5年)			
	1678 (延宝6年)			
	1679 (延宝7年)			・新田堰築造
	1680 (延宝8年)			
	1681 (天和元年)			
	1682 (天和2年)			
	1683 (天和3年)			・姥ヶ懐新田(北佐久郡)*5
	1684 (貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		
	1685 (貞享2年)			
	1686 (貞享3年)		・松本領で加助騒動(貞享騒動)がおこる	・藤塚新田(北佐久郡)*5
	1687 (貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		
	1688 (元禄元年)			
	1689 (元禄2年)			
	1690 (元禄3年)			
	1691 (元禄4年)			
	1692 (元禄5年)			
	1693 (元禄6年)			・安原用水堰(北佐久郡、100余町、~'93)*5
	1694 (元禄7年)			
	1695 (元禄8年)			
	1696 (元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		
	1697 (元禄10年)			
	1698 (元禄11元年)			
	1699 (元禄12年)			
	1700 (元禄13年)			
	1701 (元禄14年)			
	1702 (元禄15年)			
	1703 (元禄16年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1704(宝永元年)	・大和川の付替工事開始		
	1705(宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706(宝永3年)			
	1707(宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		
	1708(宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709(宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710(宝永7年)			
	1711(正徳元年)			
	1712(正徳2年)			・正徳年間:福山新田(南佐久郡、18町)*5
	1713(正徳3年)			
	1714(正徳4年)			
	1715(正徳5年)		・梅雨集中豪雨、天竜川水系に大洪水	
	1716(享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		・享保年間:五箇組合用水(三箇で竣工)(北安曇郡)*5
	1717(享保2年)			
	1718(享保3年)			
	1719(享保4年)			
	1720(享保5年)			
	1721(享保6年)	・目安箱の設置		・中尾新田(北佐久郡)*5
	1722(享保7年)	・新田開発の奨励		
	1723(享保8年)			
	1724(享保9年)			
	1725(享保10年)			
	1726(享保11年)	・新田検地条目の制定		
	1727(享保12年)			
	1728(享保13年)			
	1729(享保14年)			
	1730(享保15年)			
	1731(享保16年)			
	1732(享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
江戸時代	1733(享保18年)			・福島町開墾地(西筑摩郡、12町、～'34)*5 ・開田村開墾地(西筑摩郡、22町、～'48)*5
	1734(享保19年)			
	1735(享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		
	1736(元文元年)			
	1737(元文2年)			
	1738(元文3年)			
	1739(元文4年)			
	1740(元文5年)			
	1741(寛保元年)			
	1742(寛保2年)		・台風の集中豪雨により千曲川水系で大洪水がおこる	
	1743(寛保3年)			
	1744(延享元年)			
	1745(延享2年)			
	1746(延享3年)			
	1747(延享4年)			
	1748(寛延元年)			
	1749(寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750(寛延3年)			
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積:田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・信濃国:田27,040町、畑42,698町、計69,738町
	1751(宝暦元年)			・宝暦年間:塩川村開墾(小県郡、200町)*5
1752(宝暦2年)				
1753(宝暦3年)			・新堰(上水内郡)*5	
1754(宝暦4年)				
1755(宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成			
1756(宝暦6年)				
1757(宝暦7年)				
1758(宝暦8年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1759 (宝暦9年)			
	1760 (宝暦10年)			
	1761 (宝暦11年)			
	1762 (宝暦12年)			
	1763 (宝暦13年)			
	1764 (明和元年)		・瀑布、中馬争論に裁許を下し、信州中馬を公認する	
	1765 (明和2年)			・池田新田(北佐久郡)*5
	1766 (明和3年)			
	1767 (明和4年)			
	1768 (明和5年)			・内川堰(埴科郡、20町)*5
	1769 (明和6年)			
	1770 (明和7年)			・成沢新田(北佐久郡)*5
	1771 (明和8年)			
	1772 (安永元年)	・田沼意次、老中となる		・安永年間:勝弦新田(東筑摩郡、25町)*5
	1773 (安永2年)			
	1774 (安永3年)			
	1775 (安永4年)			
	1776 (安永5年)			
	1777 (安永6年)			
	1778 (安永7年)			
	1779 (安永8年)			
	1780 (安永9年)			・勝弦部落(東筑摩郡、39町)*5
	1781 (天明元年)			
	1782 (天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		
	1783 (天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉	・浅間山大噴火 ・この年、天明飢饉がはじまる	
	1784 (天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1785(天明5年)	・奥羽飢饉		
	1786(天明6年)	・下総手賀沼開発に看手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		
	1787(天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		
	1788(天明8年)		・この頃、佐久郡で淀鯉を導入し水田養鯉がはじまる	
	1789(寛政元年)	・困米の制を定める		
	1790(寛政2年)			
	1791(寛政3年)			
	1792(寛政4年)			
	1793(寛政5年)			
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			
	1796(寛政8年)			
	1797(寛政9年)			
	1798(寛政10年)			
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			
	1802(享和2年)			
	1803(享和3年)			
	1804(文化元年)			
	1805(文化2年)			
	1806(文化3年)			
	1807(文化4年)			
	1808(文化5年)			
	1809(文化6年)			
	1810(文化7年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1811(文化8年)			
	1812(文化9年)			
	1813(文化10年)			
	1814(文化11年)			
	1815(文化12年)			
	1816(文化13年)			
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			・文政年間: 檜川村開墾地(西筑摩郡、20町)*5
	1819(文政2年)			
	1820(文政3年)			
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		
	1822(文政5年)			
	1823(文政6年)			
	1824(文政7年)			
	1825(文政8年)			
	1826(文政9年)			
	1827(文政10年)			
	1828(文政11年)			
	1829(文政12年)			
	1830(天保元年)			・伝兵堰(上伊那郡、180町、~'32)*5
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉	・長雨低温で大凶作、天保飢饉がはじまる	
	1834(天保5年)	・諸国飢饉		
	1835(天保6年)			
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ		・五箇組合用水(北安曇郡)*5
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		
	1838(天保9年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		・中越溜池(長野市)*5
	1840(天保11年)			
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる		
	1842(天保13年)			・植口池(小県郡)*2
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		・伝兵堰(上伊那郡、50町)*5
	1845(弘化2年)			
	1846(弘化3年)			
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)	・善光寺大地震がおこる	・月蔵堰(上伊那郡、20町)*5
	1848(嘉永元年)			・嘉永年間:大池新田(東筑摩郡、20町)*5
	1849(嘉永2年)			・六道堰(上伊那郡、50町)*5
	1850(嘉永3年)			
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			
	1853(嘉永6年)	・ペリー浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		・安政年間:二番堰(上伊那郡、70町)*5 ・安政年間:種間屋堰(上伊那郡、30町)*5
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		
	1856(安政3年)			
	1857(安政4年)			
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		
	1859(安政6年)		・伊那郡白河領南山36力村惣百姓、強訴する	
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		
	1861(文久元年)			
	1862(文久2年)			
	1863(文久3年)			
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		
	1865(慶応元年)			
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐		・四ヶ堰(東筑摩郡、1,200町、~'68)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)	・相楽総三ら、偽官軍として、下諏訪で斬首となる	
	1868(明治元年)	・明治維新		
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置		
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県 ・田畑勝手作許可		
	1872(明治5年)	・田畑売買禁止の解除		
	1873(明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置		・木曾山用水の開削
	1874(明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875(明治8年)			
	1876(明治9年)			
	1877(明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争		
	1878(明治11年)		・片倉兼太郎、諏訪郡川岸村(岡谷市)に垣外製糸場設置(片倉製糸のはじまり)	
	1879(明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(~'82)		
	1880(明治13年)	・区町村会法制定施行		
	1881(明治14年)	・農商務省設置 ・大日本農会創立		
	1882(明治15年)	・日本銀行開業		
	1883(明治16年)			
	1884(明治17年)			
	1885(明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)		
	1886(明治19年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
明治時代	1887(明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888(明治21年)	・市制及び町村制を公布	・直江津線、直江津・軽井沢間全通	
	1889(明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通		
	1890(明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891(明治24年)	・濃尾大地震		
	1892(明治25年)			
		・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha		・田70,901ha、畑91,164ha、計162,065ha
	1893(明治26年)		・碓氷峠アプト式鉄道完成、高崎・直江津間全通(信越線と改称)	
	1894(明治27年)	・日清戦争(～'95)		
	1895(明治28年)			
	1896(明治29年)	・河川法制定		
	1897(明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
	1898(明治31年)			
	1899(明治32年)	・耕地整理法公布		
	1900(明治33年)			
	1901(明治34年)			
	1902(明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布		
	1903(明治36年)			
	1904(明治37年)	・日露戦争(～'05)		
	1905(明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)		
	1906(明治39年)			
1907(明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足			
1908(明治41年)				
1909(明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)			
1910(明治43年)	・韓国併合	・官立上田蚕糸専門学校(信州大学繊維学部的前身)設立		
1911(明治44年)		・中央本線全通する		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
大正時代	1912(大正元年)			
	1913(大正2年)	・北海道大冷害		・戸隠池*2
	1914(大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)	・第一次世界大戦勃発により生糸相場大暴落、県蚕糸界打撃をうける	
	1915(大正4年)			
	1916(大正5年)			
	1917(大正6年)	・米価高騰		
	1918(大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及	・長野市に米騒動おこる(飯田・松本・須坂・飯田・上田でも発生)	
	1919(大正8年)	・都市計画法公布		
	1920(大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		
	1921(大正10年)	・米穀法公布		
	1922(大正11年)			・西天竜開発事業着工(～'28)
	1923(大正12年)	・関東大震災		・斑尾池(下水内郡)*2
	1924(大正13年)			
	1925(大正14年)	・普通選挙法(男子)公布		
	1926(大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布		・県営梓川農業水利改良事業完工
	1926(昭和元年)			
	1927(昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出 ・丹後地震		
	1928(昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙		
	1929(昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立		
	1930(昭和5年)	・昭和恐慌 ・農業恐慌、農村の危機深刻化する		・善光寺平用水施設改修*2
	1931(昭和6年)	・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作		
	1932(昭和7年)	・第1次上海事変 ・5.15事件 ・時局匡救耕地関係農業土木事業発足		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1933(昭和8年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連盟脱退 ・米穀統制法公布 ・三陸地震大津波 		
	1934(昭和9年)	<ul style="list-style-type: none"> ・満州国帝政実施(皇帝溥儀) ・室戸台風 		<ul style="list-style-type: none"> ・裾花川用水施設改修*2
	1935(昭和10年)			<ul style="list-style-type: none"> ・浦里池*2
	1936(昭和11年)	<ul style="list-style-type: none"> ・2.26事件 		
	1937(昭和12年)	<ul style="list-style-type: none"> ・廬溝橋事件(日中戦争開始) 		
	1938(昭和13年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国家総動員法公布 ・農地調整法公布 	<ul style="list-style-type: none"> ・南佐久郡大日向村満州分村(189戸)できる(1村単位は全国初) 	
	1939(昭和14年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次世界大戦はじまる 		
	1940(昭和15年)	<ul style="list-style-type: none"> ・米穀管理規則により統制 		
	1941(昭和16年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始 		<ul style="list-style-type: none"> ・女羽鳥用水改良事業着工(～'50) ・芦の田池 ・沓沢池*2
	1942(昭和17年)	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧管理法公布(供出配給強化) 		<ul style="list-style-type: none"> ・洗馬村外2力村用水改良事業着工(～'52) ・西天竜用水改良事業着工(～'58)
	1943(昭和18年)			<ul style="list-style-type: none"> ・農地開発営団 梓川農業水利事業着工(～'47、国営に引継)※
	1944(昭和19年)			
	1945(昭和20年)	<ul style="list-style-type: none"> ・広島、長崎に原爆投下 ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定 ・農地改革 		
	1946(昭和21年)	<ul style="list-style-type: none"> ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正 ・地方農地事務局設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営諏訪農地開発事業着工(～'63)※
	1947(昭和22年)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法施行 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営梓川農業水利事業着工(営団から引継、～'50)※

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
昭和時代		・農業協同組合法公布		
	1948(昭和23年)	・建設省設置		<ul style="list-style-type: none"> ・国営竜西農業水利事業着工(～'63)※ ・八ヶ岳山麓用水改良事業着工(～'50) ・塩尻市外2カ村(～'50) ・依田川沿岸用水改良事業着工(～'54) ・北穂高用排水改良事業着工(～'51) ・内川用排水改良事業着工(～'59) ・塩尻池*2
	1949(昭和24年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法公布 ・ドッジ勧告による均衡予算実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・北山村外2カ村用水改良事業着工(～'52) ・上田市外5カ村用水改良事業着工(～'55) ・佐久平用水改良事業着工(～'57)
	1950(昭和25年)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争勃発 ・国土総合開発法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営梓川農業水利事業完工 ・山崎堰用水改良事業着工(～'52) ・拾ヶ堰用水改良事業着工(～'59) ・有明用排水改良事業着工(～'54)
	1951(昭和26年)	・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布		<ul style="list-style-type: none"> ・大河原堰用水改良事業着工(～'54) ・埴科用水改良事業着工(～'67)
	1952(昭和27年)	・農地法公布		<ul style="list-style-type: none"> ・伊那用排水改良事業着工(～'63) ・下水内中部用排水改良事業着工(～'70) ・美和ダム築造(～'59)
	1953(昭和28年)	・北九州及び和歌山県に大水害		<ul style="list-style-type: none"> ・善光寺川中島平用水改良事業着工(～'64) ・鳥川用水路改良工事(～'59)
	1954(昭和29年)			
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		<ul style="list-style-type: none"> ・三峯川沿岸用水改良事業着工(～'65) ・千ヶ滝用水改良事業着工(～'70)
	1956(昭和31年)			
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始		
	1958(昭和33年)			
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風		・御牧ヶ原用水改良事業着工(～'71)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1960(昭和35年)	<ul style="list-style-type: none"> 所得倍増計画 食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え 		<ul style="list-style-type: none"> 竜西用水改良事業着工(～'75)
	1961(昭和36年)	<ul style="list-style-type: none"> 農業基本法制定 水資源開発公団法公布(設立は'62) 		<ul style="list-style-type: none"> 高瀬川右岸用排水改良事業着工(～'76) 牧尾ダム完成※
		<ul style="list-style-type: none"> 耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha 		<ul style="list-style-type: none"> 田88,900ha、畑97,100ha、計186,100ha
	1962(昭和37年)			<ul style="list-style-type: none"> 菅平用水改良事業着工(～'75)
	1963(昭和38年)	<ul style="list-style-type: none"> 団体営圃場整備事業の創設 	<ul style="list-style-type: none"> 松本・諏訪地区新産業指定都市に指定される 	<ul style="list-style-type: none"> 国営長野平農業水利事業着工(～'70)※ 中野用水改良事業着工(～'70)
	1964(昭和39年)	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック 八郎潟大潟村誕生 改正河川法公布 		<ul style="list-style-type: none"> 長野平用水改良事業着工(～'72) 小渋川用水改良事業着工(～'79)
	1965(昭和40年)			<ul style="list-style-type: none"> 日滝原用水改良事業工(～'71) 国営中信平農業水利事業着工(～'77)※
	1966(昭和41年)	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良長期計画(1次) 		
	1967(昭和42年)	<ul style="list-style-type: none"> 公害対策基本法公布 		
	1968(昭和43年)			<ul style="list-style-type: none"> 矢原堰用水改良事業工(～'73) 中信平用水改良事業工(～'90)
	1969(昭和44年)	<ul style="list-style-type: none"> 米の生産制限始まる(開田抑制措置) 農業振興地域の整備に関する法律公布 農道舗装事業の創設 		<ul style="list-style-type: none"> 川西用水改良事業着工(～'78)
	1970(昭和45年)			<ul style="list-style-type: none"> 梓山畑地帯総合土地改良事業着工(～'73)
	1971(昭和46年)	<ul style="list-style-type: none"> 政府米の買入制限導入 沖縄返還 環境庁発足 	<ul style="list-style-type: none"> 県、自然保護条例公布 	
	1972(昭和47年)	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良法改正 農村基盤総合整備パイロット事業の創設 		<ul style="list-style-type: none"> 国営伊那西部農業水利事業着工(～'87)※ 塩川用排水改良事業着工(～'89) 小渋畑地帯総合土地改良事業着工(～'87) 伊那東部畑地帯総合土地改良事業着工(～'97)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1973(昭和48年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次石油ショック ・土地改良長期計画(2次) 		<ul style="list-style-type: none"> ・東部畑地帯総合土地改良事業着工(～'88)
	1974(昭和49年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足 		
	1975(昭和50年)			<ul style="list-style-type: none"> ・上中堰用水改良事業着工(～'80) ・立沢用水改良事業着工(～'83) ・古見原畑地帯総合土地改良事業着工(～'85)
	1976(昭和51年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法改正 		<ul style="list-style-type: none"> ・平川用水改良事業着工(～'82) ・北御牧用水改良事業着工(～'83) ・山形東部畑地帯総合土地改良事業着工(～'84)
	1977(昭和52年)			<ul style="list-style-type: none"> ・西天竜用水改良事業着工(～'96)
	1978(昭和53年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農林省、農林水産省に省名変更 		<ul style="list-style-type: none"> ・勘左衛門堰用水改良事業着工(～'90) ・中下原平林畑地帯総合土地改良事業着工(～'89)
	1979(昭和54年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設 		<ul style="list-style-type: none"> ・芋川用水改良事業着工 ・塩田平用水改良事業着工 ・河東排水改良事業着工 ・中野西部畑地帯総合土地改良事業着工(～'94)
	1980(昭和55年)			<ul style="list-style-type: none"> ・夜間瀬畑地帯総合土地改良事業着工(～'91) ・豊野畑地帯総合土地改良事業着工(～'96)
	1981(昭和56年)	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧管理法の改正 		<ul style="list-style-type: none"> ・祢津畑地帯総合土地改良事業着工(～'92)
	1982(昭和57年)			
	1983(昭和58年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震 		<ul style="list-style-type: none"> ・横堰用水改良事業着工 ・国営飯山農地開発事業着工(～'94)※
	1984(昭和59年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正 ・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定 		<ul style="list-style-type: none"> ・御射山畑地帯総合土地改良事業着工(～'93)
	1985(昭和60年)		<ul style="list-style-type: none"> ・長野市地附山で大地滑りおこる 	<ul style="list-style-type: none"> ・東川原排水改良事業着工(～'88) ・若穂用水改良事業着工(～'90) ・桔梗ヶ原畑地帯総合土地改良事業着工(～'92)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1986(昭和61年)	・21世紀へ向けての農政の基本方向		
	1987(昭和62年)	・水田農業確立対策決定		・八千穂用水改良事業着工
	1988(昭和63年)	・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ ・青函トンネル、瀬戸大橋開通		・春富用水改良事業着工
平成時代	1989(平成元年)			・菅平施設整備事業着工(～'93) ・塩田畑地帯総合土地改良事業着工
	1990(平成2年)			・露切用水改良事業着工 ・倉井用水改良事業着工 ・蓼科大岳用水改良事業着工 ・内川用排水改良事業着工 ・上今井畑地帯総合土地改良事業着工
	1991(平成3年)	・農業農村整備事業と事業名変わる		
	1992(平成4年)		・県水環境保全条例・景観条例施行される	・国営長野西部地すべり対策事業着工(～'05)※
	1993(平成5年)	・環境基本法案決定 ・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入		・上井用水改良事業着工 ・朝日畑地帯総合土地改良事業着工
	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定		・三峰川右岸用水改良事業着工 ・中央畑地帯総合土地改良事業着工
	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災		・国営安曇野農業水利事業着工(～'04)※ ・安曇野排水改良事業着工 ・御牧原畑地帯総合土地改良事業着工
	1996(平成8年)			・今井畑地帯総合土地改良事業着工
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布		・大河原堰用水改良事業着工 ・御影用水用水改良事業着工 ・秋山畑地帯総合土地改良事業着工 ・中信平左岸畑地帯総合土地改良事業着工 ・大深山畑地帯総合土地改良事業着工
				・菅平施設整備事業着工 ・小渋川施設整備事業着工

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立	・長野冬季五輪開催	・越荒沢堰用水改良事業着工 ・四谷畑地帯総合土地改良事業着工 ・小諸御牧原畑地帯総合土地改良事業着工 ・御所平埋原畑地帯総合土地改良事業着工
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立		
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定		
	2001(平成13年)			
	2002(平成14年)			
	2003(平成15年)			
	2004(平成16年)	・中越地震		
	2005(平成17年)			・国営中信平二期農業水利事業着工※
		・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha		・田57,600ha、畑55,900ha、計113,500ha
	2006(平成18年)			・牧尾ダム堆砂対策完成※
	2007(平成19年)	・中越沖地震		
	2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		
	2009(平成21年)			
	2010(平成22年)			
	2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))		
	2012(平成24年)			・国営伊是名西部施設整備事業着工※
	2013(平成25年)			

<参考文献>

- *1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
- *2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
- *3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
- *4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)
- *5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	長野県の歴史	長野県の水土整備の歴史
----	--------	-------	--------	-------------

※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋

なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「長野県土地改良史」(1999年)より抜粋

また、長野県の歴史は「長野県の歴史」(1997年)(山川出版社)より抜粋